

日本はこれから本格的な台風シーズンに突入します。台風は年間で25.6個発生し、そのうち接近は11.4個、上陸は2.7個というのが平均的な数字です。昨年は台風第1号の発生が7月3日と過去2位の遅さでしたが、その後ハイペースで発生し、最終的には年間の発生数が26個、日本への接近は11個といずれも年並みでした。それどころか、上陸は6個と過去2番目の多さになり、うち北海道に3個も上陸したり、最初の上陸が東北の太平洋側だった台風があるなど観測史上初めてのことも起こり、北日本を中心に甚大な被害がありました。

まさかこのような異常事態になると考えていた方はいな

かったでしょう。「今まで災害に遭っていないからここは大丈夫」という意識は危険です。命を守るために、普段から自分の住む地域にどのような自然災害のリスクがあるのかを把握し、避難場所や経路をしっかりと確認しておくことが大切です。お年寄りやお子さんは避難の際に時間を要

<p><b>避難情報のステップ</b></p> <p><b>避難指示（緊急）</b> まだ避難していない場合は直ちに避難する</p> <p><b>避難勧告</b> 速やかに避難場所へ避難する</p> <p><b>避難準備・高齢者避難開始</b> 高齢者や乳幼児など避難に困難を要する方はこのまま避難場所へ避難する</p>	<p><b>命を守るために</b></p> <p>自分の地域の気象災害リスクを知る</p> <p>・避難場所や経路を予め確認</p> <p>・屋外への避難が困難な場合は自宅の2階など安全な場所へ避難</p>
--	---

することがありますので、「避難準備情報」の段階から積極的に避難しましょう。

日本気象協会  
平出 真有

特別顧問	丹羽 晟（元理事長、日本空港ビルデング顧問）丸山 博（元国土交通審議官）本保 芳明（初代観光庁長官）
理事長	大島 慎子（筑波学院大学学長）
副理事長	岡村 進（元小田急トラベル社長）横山 善太（元日本航空副社長）須田 寛（東海旅客鉄道相談役）
事務局長	杉 行夫（理事）事務局次長 堤 りり（理事）
支部長	須田 寛（中部）魚住 隆彰（北陸）長尾 亜夫（九州）岩田 弘三（神戸）梅原 利之（四国）

<p><b>団体会員</b></p> <p>株式会社アルビオン 医療法人社団同友会 一般財団法人NHKインターナショナル 株式会社えんれいしゃ 小田急電鉄株式会社 関西電力株式会社 九州旅客鉄道株式会社 社団法人くらしのリサーチセンター 株式会社グリーンキャブ 株式会社耕人舎 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド 三普旅行社有限公司 四国旅客鉄道株式会社 新菱冷熱工業株式会社 住友電設株式会社 セントラルリーシングシステム株式会社 大成建設株式会社 大成設備株式会社 大成有楽不動産株式会社 株式会社丹青社 第一交通産業株式会社 株式会社ダイエーコンサルタンツ 中国電力株式会社 中部（東海・北陸・信州）広域観光推進協議会 東海旅客鉄道株式会社 東急建設株式会社 東京急行電鉄株式会社 財団法人東京観光財団 西日本鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 公益社団法人日本観光振興協会中部支部 日本空港ビルデング株式会社 専門学校日本ホテルスクール 羽田旅客サービス株式会社 株式会社パロックジャパンリミテッド 広島電鉄株式会社 福岡空港ビルディング株式会社 北海道空港株式会社 株式会社ホテル小田急 ホテルメトロポリタン マイナミホールディングス株式会社 株式会社まるまふフィオーレ 三菱電機株式会社</p>
---

編集後記

6月に久しぶりにニューヨークを訪れた。バブルの時代5年半住んでいたNYCは様々な面で変化していた。世界貿易センターの跡地グラウンドゼロ、ロアウエストサイドの廃線になった高架貨物線跡を再開発し自然あふれる遊歩道に変えたハイライン、ブルックリンの古倉庫街がおしゃれな町に変貌したダンボ地区など新しい観光地が誕生していた ▼ 今回の旅で、町そのものや観光素材以外の、観光に大切な施設やソフトの変化に感心したことがある。▼ 多くのレストラン、デパート、劇場、美術館など観光施設のトイレで男女共用（ジェンダーフリー）を採用しているところが多かった。日本では女性トイレが長蛇の列で男性トイレが空いている光景をよく見かけるが、バスの出発時間など時間に制限の多い観光客には優しい。日本でも観光関連施設での運用を考えても良いのではないかと ▼ ▲、レストランや販売店での従業員のフレンドリーな対応に接し、昔の不愛想な従業員を経験している身には驚きであった。それ以上に感心したのは、地下鉄の中で子供連れ、高齢者、障害者に当然のように席を譲る人の多いこと、ビルの出入り口やエレベーターのドアを後の人のために必ず押さえてくれること、混雑している大通りで信号待ちをしていた杖を突いた老婆に、道路脇でベールを販売していたおじさんが、自分が座っていた椅子を差し出し座らせてあげるなど一般の人々の親切心である ▼ “おもてなし”が売りの日本も観光関係者だけでなく、一般の人々にも“おもてなし”の心を広げていく必要がある。（北村）

訃報

本協会副理事長 加納 隆氏が7月16日ご逝去されました。氏は本協会開設時から100号迄本紙編集長を務められ協会の発展に寄与されました。  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

特定非営利活動法人《NPO》  
**JAPAN NOW**  
観光情報協会

東京都新宿区西新宿2-7-1  
小田急第一生命ビル555 〒160-0023  
電話 03(5989)0902  
FAX 03(5989)0903  
E-mail info@japannow.org  
HP www.japannow.org/

発行人：大島 慎子（JN協会理事長）  
編集長：北村 嵩（JN協会理事）  
発行部数：3,000部  
主な配布先：会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

Contents

- ・インバウンド政府目標の進捗状況 …… 1
- ・上半期の訪日外国人観光客 …… 1
- ・観光列車を見る④ …… 2
- ・COLUMN VIP警備あれこれ …… 2
- ・アメリカこぼれ話 50 / キザおじさん …… 3
- ・観光と鉄道(5) / NEWS SPOT ウマ鉄 …… 4
- ・奥伊予街道～ / 「道後 X 石鏡」～ …… 5
- ・震が関通信 / 等質化する世界の各地 …… 6
- ・関西鼻窟③ / 観光立国セミナー …… 7
- ・気象と天気の話 / 編集後記 …… 8



【大瀬川】写真：森崎 新勝（この写真はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス【表示4.0国際】を改定）

日本原風景のひとつ「築（やな）あそび」。写真は栃木県茂木町の那珂川の「大瀬川観光やな」。今年は7月中旬から10月末まで設置されている。

インバウンド政府目標の進捗状況

2020年 訪日客数4,000万人 旅行消費額8兆円

2016年3月に政府が発表したインバウンドの目標値、2020年に訪日客数4,000万人、訪日旅行消費額8兆円は今のところ順調に推移しているようだが、心配な状況もある。まず旅行者数であるが昨2016年は2,404万人、今年の上半期は1,376万人と順調にきているが、伸び率が漸減している。2014年29.4%、15年47.1%、16年21.8%そして17年上半期は17.4%増であった。入国客数の4分の3以上を占める東アジア4市場（韓国、中国、台湾、香港）はそれぞれ政治的不安要素を抱えている。

19年のワールドラグビー世界大会や20年の東京オリンピック、パラリンピックという集客が見込める大イベントがあり、期待されているが、宿泊料金の高騰や混雑を避ける心理が働き、入国を避ける動きが心配される。2020年までの4年間入国者数の伸び率が15%を切ると目標達成が難しくなる。

一方、旅行消費額は、2016年は前年比7.8%増の3兆7,476億円で、過去最高であったが、伸び率は15年71.5%から大きく縮小し、一人当たり消費額は4年ぶりに前年を割った。使途別では買い物1兆4,300億円弱と最多で、宿泊、飲食、交通と続く。一人当たりの平均消費額は15万6千円弱で前年比11.5%減であった。最近、観光庁から発表された訪日外客の本年4-6月の消費総額は、客数の増加が寄与して全年同期比13%増の1兆776億円であったが、一人当たり消費額（14万9千円）は前年割れが続いている。政府目標「20年に年8兆円」の達成は厳しいペースである。

上半期の訪日外国人観光客は前年同期比17.4%増の1,375万7千人

6月単月では過去最高の234万7千人前年同月比18.2%

7月19日JNTO（日本政府観光局）発表の推定値によると、2017年6月の訪日外客数の推定値は、前年同月比18.2%増の234万7千人で、6月として過去最高となった。上半期累計では前年同期比17.4%増の1,375万7千人となり、主要20市場全てで過去最高となった。

市場別では韓国、中国、台湾、香港の東アジア4か国が相変わらず好調で全入国者数の76.3%を占めており、特に台湾は単月として過去最高を記録した。韓国市場が、航空座席数の前年同期比60%超伸びを背景に訪日外客数全体を牽引している。断食明け大祭休暇や学校休暇など、旅行需要の高まる時期に向けて実施した訪日旅行プロモーションの他、訪日クルーズ、チャーター便の就航により需要が上乗せされた市場もあり、訪日外客数全体としては堅調に推移した。

ただ、一昨年50%近い伸び率だったが、昨年は21.8%、今年上半期は17.4%まで鈍化しており、2020年4,000万人の目標達成が不透明になってきている。

昨今の世界情勢や旅行先多様化の他に、九州などでの大雨洪水被害などの天変地異の影響などを背景に、訪日旅行市場を取り巻く環境は日々変化しており、今後も市場動向を注視し、綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションを進めていく必要がある。

JN協会が観光講師を派遣。地域の観光振興を支援!

鉄道と観光とのかかわり

- ① 鉄道は観光地へのアクセス手段
- ② 鉄道は観光の付加価値を高める
- ③ 鉄道への乗車それ自体が観光対象(資源)

現在全国の鉄道で100種をこえる様々な“観光列車”が登場している。今回はこのなかから珍しい「新幹線車両」を使った“観光列車”を紹介したい。

新幹線は高速で観光地へアクセスできるため鉄道と観光とのかかわり①の役割が中心である。さらに「新幹線を利用した」という話題性がある開業初期の新幹線の場合は②の役割も加わるため新幹線には③の役割を中心とするような特別な造作、演出を考えたいわゆる「観光列車」はあまり登場しなかった。

しかし開業後日時を経て①の役割は普通の日常的なものとなった。そこで新幹線にも②、③の役割を果たす列車を運行して新観光資源を造成したいとの要望が高まり最近2例の新幹線車両による観光列車が相次いで登場した。

(1)「現実新幹線」JR 上越新幹線(新潟-越後湯沢間)

上越新幹線(新潟県内)で平成28年4月から毎週末(祝日)運転の観光列車として1日3往復運行の臨時「とき」が「走る美術館」という新趣向で登場した。秋田新幹線の6両編成を転用、車内を1両ごとに金色を基調とした現代アートで飾った。即ち「光」「祭」をテーマにした



11号車、「ミラー・タイトル」ばりの12号車、「青空」を象徴する12号車(キッズスペース併設)、「写真展示場」となる14号車、「花」をイメージした15号車「映像」を上映する16号車といった

多彩なものである。車内の片側を展示スペースとしそれに向かいあったソファから作品を鑑賞する、列車内とは思えないまさに美術館がそこにあるという実感だ。車内にはカフェもあり茶菓も用意されている。新潟、越後湯沢間各駅停車、所要が50分(他の新幹線列車とほぼ同じ)あるのでゆっくりアートを鑑賞するゆとりもありまさに「世界最速の美術館」とされる所以であろう。11号車は指定席車、12～16号車は自由席車、上越新幹線の運賃特急料金と同額で(乗車券特急券も各駅で求められる)乗車できる。北陸新幹線開業で生まれたダイヤの余裕を活用したもので、秋田新幹線の車両を転用改装したため号車番号が11号車から付番されているのも珍しい。

(2)“とれいゆ つばさ”

JR山形新幹線(福島-新庄間)

平成26年から山形新幹線に運行されはじめた新幹線車両による初の観光列車である。(運行区間福島-新庄間は山形新幹線とよばれる新幹線車両が走るが、法的には在来線扱い)

この列車の話題は何といっても車内に温泉(足湯)を取込んだことであろう。タンクから温泉を給湯するが循環式戸過装置など衛生上の工夫もされている。6両編成で11号車は普通車指定席、12～14号車はお座敷タイプの指定車でカバ材の味わいを活かしたテーブルに座席の赤い布地がよく調和する。15号車は畳じきもある湯上がりのラウンジとバー、16号車に話題の2槽の足湯スペースがあり入湯し乍ら車窓の景色が楽しめる。そのほか列車内では地酒や郷土料理のサービスもある。列車の名前“とれいゆ”はフランス語の「太陽」をあらわすソレイユとトレイン(列車)をあわせた造語で、さしずめ「太陽列車」というところか。9月までの毎週末福島、山形、新庄間1往復の運行、全席指定席の“温泉観光新幹線”である。(注:スペースの関係で足湯の利用がこの列車に設定されるツアー会員客優先となる場合がある由)



写真提供:株式会社 交通新聞社

1979年秋、外務省で外務省及び警視庁職員、小田急新宿駅長を交えて旅行計画と、その安全対策を話し合った。国賓待遇で来日するシンガポールのリー・クワン・ユー首相の箱根への休暇旅行の打ち合わせだった。当日リー首相が新宿駅でリムジンから降り、ロマンスカーに乗る直前に私がプラットホームを小走りに移動した。すると2人のSPから怖い顔で睨みつけられ、足がすくんだ。箱根の立ち寄り先ではどこでも、安全上いつトイレを利用するか、どこかトイレを利用するかまでマル秘とされ、常に2つ空けられていた。

東西対立の1981年秋、チャウシェク独裁政権下のルーマニアの首都ブカレスト中心部から車で空港へ向かっていた。突然前触れもなく空港への高速道路が全面閉鎖されてしまった。お騒がせ男リビアのカダフィ大佐がやって来たのだ。国賓最優先の一方的で強引な警備体制に腹が立った。時間のロスとなれば出発便に間に合わなくなる。苦悩の末ドライバーに哀願して田圃のデコボコ道を空港へ急がせた。 エッセイスト 近藤 節夫

関西での会食はいわゆる会席料理が多い(懐石料理との表現は茶の湯の席での質素な食事・料理)⇒座敷での食事、寿司、天ぷら、おでん、焼鳥等カウンター割烹で客人を持って成すのは失礼であるとの考えの様です。従って戦前はあまり関西ではカウンター割烹での店は多く無く最近では京都で流行と成りつつ有らしい。

<つゆの文化>

一方食事は情報収集の為のもので食事の中身は二の次であるのですが、関西の会食では「ん?これは旨い!なんだろう」と「箸が止まる」場面がある。何と云う料理?「沢庵椀です。こちらは鶏を治部煮風に暖かくてよろしおまじやろ」と来る。この味出しの良さは「つゆ文化」と解釈しています。

元々関西(と云うより都なのかも知れぬが…)では、味付けは濃い口は田舎者として扱われていた様です。近世の頃、龍野(兵庫県 三木露風 夕焼け小焼けで有名)で薄口醤油を生産し始めた。同じ頃、北前船の航路拡大で大阪と蝦夷が結ばれ昆布が関西のだしに加わるようになった様であります。この昆布だしの登場が関西のだしが関東より優れることとなったのだと思います。

きつねうどん(“けつねとも”称する)のだし汁は庶民感覚で天下一品と思います。学生が東京に出てそば屋で真っ黒な汁を見て仰天するのは良く耳にする話です。

観光立国セミナー 会場:海事センター

「文化学園・高田賢三の仕事」 曾根 美智江 氏  
第133回(6月9日) メディアファッション代表取締役 ヴェアラブルファッション研究会会長

曾根さんは文化服装学院デザイン科を卒業されてパリに留学。高田賢三は同学園の2学年下の卒業で、デザイン専攻、パリ留学など共通分野が多い。賢三のパリ留学中の1960年代はベトナム戦争、サブカルチャーなどの影響で、旧世代に反発する新世代が台頭してきた時代で、若者たちの間で、装うことで自己主張を行う文化が広がってきた。フランスのファッション業界も、オートクチュール(高級注文服・サロン)、プレタポルテ(高級既製服・ブティック)からストレッチブランド(カジュアルファッション・ブティック)、コンフェクション(大規模既製服)へと拡散してきていた。フランスでの経験をもとに、1970年代にアメリカで「ジャングルジャップ」を起業し、自身の価値観を軸にトータルマネージメントで既存のファッションビジネスを凌駕した。このビジネスの特徴は、クリエイターの立場を、経営的な側面や技術的な要素など様々な要素を取り込んで自分で責任をとる「クリエーションビジネス」で、カジュアルブランドビジネスの社会への認知、市場創造型ビジネスの紹介などファッションビジネス業界に影響を与えた。1980年以降は企業名を「ケンゾー」とし、株式化、持ち株会社制を導入、メンズ、子供服、香水部門などを設立し、海外にも進出し、ライセンスビジネスなども行ったが、大企業の参入を招き、資本参加の後、ブランドを売却することになった。2017年になって再始動を始めた。

次に白身の話に移ります。

<白身の魚>

高級ホテル寿司カウンターで「中トロ刺身で」と頼むと「お客さん!申し訳けありません今日は中トロが仕入れ出来なくて、でも何ですがこの鯛は脂が乗っていて良いです。何故仕入れが出来なかったか。ところで鯛は目茶目茶旨かったのは何故か。

後に卸売市場欄を良く調べると(今から20年余以前の頃)中トロは1kg7,000円~8,000円(築地)、大阪は中トロなく。鯛は築地は800円~2,000円、大阪では800円~4,000円でありました。つまり商品は高値のところ集まります。昔から付き合いのある東京の寿司屋さんで脂の乗った鯛の刺身が関西で美味しいのだが、何故東京では余り一般的でないのかしら?寿司屋曰く、お客「鯛、ひらめ等、白身一つ」と注文されるのはさっぱりしたものと思ひ脂の乗った白身は仕入れないのです。

白身の最たる中に“はも”がある。関西で抜群の人気であります関東ではさほどでなく、多分味が薄く梅肉の味の様に思えるからでしょう。この“ハモ”も脂が乗ったものでしゃぶしゃぶの様に食すると最高のご馳走です。ついでに話が飛びますが、鴨なべ、ハモなべ何れも京都より大阪の方が鍋の野菜は“水菜だけ”お洒落で実に鍋物として上品であります。クジラ鍋の知恵を引用したのでしょうかが実に良い。このように庶民的なクジラ鍋から上品なハモなべが生じたのも面白い話。

関西の食文化について続きは次回でお話します。

「トランプ旋風とメディアの挫折」 島村 力 氏  
第134回(7月14日) 元拓殖大学教授・元中央論編集長 アメリカ研究者

NHKで紹介されたように米国では、連日のトランプ報道に飽きた人達に「トランプ疲れ現象」発生している。2016年の大統領選挙の予測は接戦ながらクリントンが優勢であったが、結果は得票率ではクリントンが上回ったが獲得選挙人数ではトランプの方が勝ち大統領になった。

支持層は男性、高齢層、低所得者、農村地帯でトランプ。女性、若者、高学歴層、都市部ではクリントン支持であったが、特筆すべきは白人女性に限ってはトランプ支持が上回った。

選挙運動費用ではクリントンの方が倍近く多かったが、クリントンは従来型の選挙マシーンに頼った運動だったが、トランプは従来の伝統を破壊し、世論調査やデータ分析を無視して、善悪共に話題を提供しメディア露出度を上昇させ少ない費用ですませた。

トランプの勝因は、マスメディアの衰退によるローカルニュースの減少でサイレントマジョリティーの意見が届かない、大手メディアの史上例を見ない中傷誹謗、インテリ層に衝撃を与えた「ポリティカル・コレクトネス」(社会的少数者・弱者を守る表現と姿勢)を否定した発言等が有利に作用したと言われる。



## 霞が関通信



観光立国を支える人たち  
かほしま いくお  
蒲島 郁夫 氏  
熊本県知事

熊本県出身。  
県立熊本高校卒業後、稲田村農協勤務。68年農業研修生として渡米。74年ネブラスカ大学農学部卒。

79年ハーバード大学大学院修了。91年4月筑波大学教授を経て97年東京大学教授。08年4月に熊本県知事。16年に再選されて現在3期目。70歳。

蒲島知事は熊本地震から1年になる3月23日に外国人記者クラブで営業部長兼あわせ部長のくまモンと記者会見をした。熊本地震で世界各国からの支援を感謝するとともに熊本の観光問題について語った。蒲島知事は米国の大学を出ているのでスピーチはすべて英語でやり質問にも答えた。

昨年4月14日と16日にわたる地震で観光の目玉である熊本城が崩壊する等大変な被害が起きましたが、観光業への影響はいかがでしょうか？

地震が起きるまでは観光は順調でした。宿泊客数は15年は720万人と今までの最高を記録しました。ところが地震で32万人のキャンセルが出て大変でした。県内の主要39のホテルや旅館などに宿泊数の調査していますが、16年4-6月で前年の80%、7-9月で85%、10-12月で88%と地震の前の状態にはまだ届いてはいません。観光の目玉である熊本城も19年には天守閣を復旧して、36年までには元の状態にします。20年かかります。観光業にとっては大変な被害だったのです。

そうした中で営業部長兼幸せ部部長のくまモンは活躍しましたね。

本当に活躍してもらっています。国内よりも海外で有名になりその客引き効果は大きいです。くまモンは県民の幸福度最大の大きき寄与しています。熊本の認知度を上げたり、子供や年寄りに触れあって安心・安全を訴えています。会う人に夢を与えています。経済効果だけで見ても16年の関連商品の売り上げだけでも1280億円に上り、11年に登場してから経済効果は3700億円と推定しています。地震で落ち込んでいる中で頑張ってくれてありがたいことです。

これから熊本をどのように売りだしてゆきますか？

熊本グルメツーリズム構想を打ち出してゆきます。県内にある食材、食文化、地酒、刃物、陶器など豊富にあります。そのために熊本グルメタクシーを走らせます。食業界をけん引する一流のシェフたちによる食の応援団を結成します。トマト、スイカは全国一の生産量を誇っているほかミカン

も生産量が多いです。赤牛の肉や馬刺しも全国一です。焼酎も米焼酎があり、評判が良いです。19年には熊本で女子のハンドボールの世界選手権があり、ラグビーも会場になります。それまでには地震の被害を回復したいですね。

経済ジャーナリスト 阿部 和義

## 等質化する世界の各地

観光学博士 寺前 秀一

この5月にバルカン半島から中東地域を旅行し、訪問国・地域が105か国となった。20才になった1970年初めて香港・台湾旅行に出かけた。大学は紛争中、中国は文化大革命の時である。香港・台湾が国ではないとすれば数字も変わるの地域としている。10万円の航空券を買って羽田から出かけたことを覚えている。ホテルも決まず先輩に紹介してもらった宝石商を頼ってゆくと、機中隣席の日本人事業家が心配して、とりあえず初日はと、ネイザンホテルを手配して、会社の人たちと一緒に夕食まで食べさせてくれた。

今回はONWORLDの特典航空券を使った。コンボに行くというとか皆から大丈夫かといわれ、逆にコンボでベイルートに行くという、ドライバーに大丈夫かといわれた。日本人が珍しいのが行く先々で、中国人、フィリピン人かとか聞かれ日本人だといくと、フクシマは大丈夫かといわれた。危険というのはそんなものなのだろう。

帰国後多くの人にこれまでのうち、どこが良かったかと言われる。質問は当然だが、スタンプラリーみたいなもので、拠点だけである。結局、どこへ行っても同じであるという結論になってしまった。霞が関の現役時代、国内の鉄道と空港を全部踏破したが、その時の思いは日本中どこも同じだということであった。

当時日本中の女子高生は茶髪で、標準語をしゃべり、コンビニがあり、離島でもナイター設備のテニスコートがあった。今だとそれにシェリングエコノミーが加わるのである。世界も同じで、スマホをいじくり、スタバのコーヒー、マクドナルドのハンバーガーである。違いより同じ部分の方が圧倒的に多い。だから便利である。UberやAirbnbが受け入れられるのは当然であろう。カードが使えないとかえって不便なのである。

博士論文のテーマが日常と非日常の相対化であったが、まさに世界中等質化してきているというのが実感であった。フロンティアは宇宙なのであろう。



クウェートタワー



元 JTB 取締役 北村 嵩

ペンシルヴァニア・ステーション(通称ペン・ステーション)とグランド・セントラル・ステーション(通称グラセン)は、マンハッタンにある2大鉄道駅で、毎日数十万人の通勤客や長距離列車の乗客が乗り降りする、航空機が主役になる前までのニューヨークの表玄関であった。現在のグラセンは、42丁目に正面を向けた壮麗なフランス古典様式の建物で、メイン・コンコースは高い丸型の天井に12宮の星座が描かれており、歴史的な建造物である。

一方のペン・ステーションはマジソン・スクエア・ガーデンの下に駅があり、機能的ではあるが、駅の建築としては目立たない。しかし、20世紀初頭に完成した最初のペン・ステーションはグラセンに勝るとも劣らない荘厳な建物であった。7番街に面した正面玄関には34本のドーリア式列柱が並び、グランド・ホールはローマ式で高い天井を持つ。一変して中央コンコースは、近代的な、鉄とガラスの曲線と直線を組み合わせた素晴らしい建物であった。1962～66年に猛烈な取り壊し反対運動にもかかわらず取り壊されて、現在の駅に建て替えられたのである。そもそも19世紀後半の基幹産業であった鉄道会社は、激しい競争を繰り返していた。

当時の2大鉄道会社であるペンシルヴァニア鉄道とニューヨークセントラル鉄道が、社の威信をかけて建築したのがペン・ステーションとグラセンであった。当時、両社の稼ぎ頭はニューヨーク・シカゴ間の路線で、NYCセントラル鉄道はグラセンから北回りでシカゴへ出発していたが、ペン鉄道はまだハドソン川を渡る橋やトンネルがなかった。マンハッタンからフェリーで対岸のジャージー・シティに渡り、そこから鉄道に乗ってフィラデルフィア経由で南回りでシカゴへ向う。両鉄道共に、11時間の所要時間を短縮しようと新型の特急列車を投入して熾烈な競争を行っていた。ペン鉄道会社は、乗り換えによる不利を解消しようとハドソン川に橋をかける提案を行ったが、ライバル鉄道会社に反対されて許可が得られず、トンネル建設に計画を変更した。しかし当初は蒸気機関車であったため、トンネル内での排気が出来ず、ニューヨーク市にも、排煙とススによる公害のため乗り入れを禁止され、実現できなかった。

乗り入れの実現は電気機関車の実用化が可能になった20世紀初めになってからである。ペン鉄道会社はトンネル建設と同時に、全米一の鉄道会社に相応しいターミナル駅の建設を始めた。1906年であった。同じ頃、ライバルのグラセンも、輸送量の増大と公害に対処するため駅舎の建替を計画していた。膨大な建設資金を捻出するために、線路と駅を地下に埋設して蓋をし、その上の開発権(空中権)を売って出来たのが現在のグラセンである。蓋をした30ブロックの上はパークアヴェニューになっており、ワールドルフ・アストリア・ホテルや旧パンナムビルなどが建っている。

## 素敵な「キザおじさん」

小田急電鉄(株)特別社友 利光 國夫

私の成城学園初等科時代に隣のクラスの生徒だったOさんという女性がいる。彼女はなかなかの資産家で、成城の高級住宅地に立派な邸宅を構えているのだが、数十人を収容できる多目的ホールも併設して、年に数回各界の識者を講師に招いて講演会を開催している。私も何回か案内を貰って参加しているが、先日は同級生のU君の講演があった。彼は上野寛永寺の長老で彰義隊についての話だったが、なかなか興味深い内容で勉強になった。

しばらく前のことだがOさんから電話があり、元NHKのキャスターだった磯村尚徳さんの講演を予定しているので参加して欲しいと言う。実は講演会終了後毎回Oさんがオーナーである小料理屋で講師を囲んで親しい同級生数人が食事会をする慣例があり、私も何回か参加している。今回参加予定の一人である世界的電器企業の元社長のI君が、「あんなキザおじさんと付き合うのは大変だから利光を呼べ」と言うので急で悪いけど都合つけてよとのこと。私は以前からNHKの左翼リベラル寄りの報道姿勢に批判的なので気が進まなかったが、「いいから、いいから」と口説き落とされてまあこれも付き合いと承諾した。

当日磯村さんの講演は現下の国際情勢の考察がテーマだったが、内容はハンチントンの「文明の衝突」にも通じる真つ当な示唆に富むものだった。食事会では隣り合わせになりワインのオーダーも「安くて美味しければ何でも結構です」という調子で、同じ暁星中学の同窓生と分かる「このフランス民謡歌ったでしょ」と「ノルマンディー」の一節を口ずさんでくれた。「自然の緑の美しさが深まり、美しい空の下太陽が輝き、ツバメたちが舞い戻るとき、私はノルマンディーに帰りたい、命を与えてくれたあの地へと・・・」というこの歌は私を遠い少年時代へ誘ってくれた。キザなおじさんとの一夕はまことに忘れ難い思い出となった。

## JAPAN NOW 協会会員 募集中!

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

地域の鉄道観光を応援する「観光と鉄道」、世界各国の大使館で開催する「大使館セミナー」等、新しい企画も始まりました。観光振興のご参加、お待ちしております。

### ■ 年会費

個人会員(1口5千円から) 団体会員(1口5万円から)

お問い合わせ先 ▶ JAPAN NOW 観光情報協会

電話: 03-5989-0902 FAX: 03-5989-0903

## 観光と鉄道(5) 観光列車を目指す当社の取り組みについて



四国旅客鉄道株式会社  
愛媛企画部長 窪 仁志氏

「わざわざ乗りに来ていただく」をキーワードにした当社の観光列車に対する取り組みについて紹介する。

まず、2014年7月に当社の本格的な観光列車として運行を始めた「伊予灘ものがたり」は主に土・日・祝日に、地域ぐるみでお客をおもてなしする気持ちを込めて「愛ある伊予灘線」という愛称をつけた予讃線海回りの「松山～伊予大洲」「松山～八幡浜」間を1日それぞれ1往復、計4便が運行されている。この4便は沿線地域にちなみ、それぞれ列車名を「大洲編」「双海編」「八幡浜編」「道後編」と呼び、車内では専属のアテンダントが食事の提供からビューポイントの紹介や観光地の説明を行い、列車の旅に華を添えている。「伊予灘ものがたり」は、伊予灘の美しい景色を眺めながらゆったりとした非日常の時間を過ごす贅沢な列車の旅を楽しむことができる。

また、四国に足を運んでいただくお掛けとして、予土線で「予土線3兄弟」という観光列車を運行している。「予土線3兄弟」は、長男の元祖トロッコ列車「しまんトロッコ」、次男の四万十

川のカップをイメージし、海洋堂のフィギアを展示した「海洋堂ホビートレイン」、三男の初代新幹線をイメージし、鉄道車両の模型を展示した「鉄道ホビートレイン」である。これらは、鉄道ファンや観光客だけでなく、予土線沿線の地域住民にも大変人気を博している。

鉄道が単なる移動手段ではなく、「乗る」という体験価値を最大化し、「乗る」事、「移動」する事そのものを楽しむという観光列車の取り組みの中で、大切な要素が、地元との連携や賑わい、人々の交流である。観光振興や地域活性化の起爆剤として観光列車を核とした地域ぐるみのおもてなしデザインが忘れてはならない重要な要素であり、未永くご利用いただける鉄道を目指す弊社の取り組みの最大のポイントである。

伊予灘ものがたりアテンダント



しまんトロッコ



海洋堂ホビートレイン



鉄道ホビートレイン



伊予灘ものがたりアテンダント

## NEW SPOT in Japan 63

### ウマ鉄



「競馬と鉄道」展が東京・府中市にある東京競馬場内のJRA競馬博物館で開催中だ。競馬場近くの鉄道駅開業を知らせる広告や新聞記事、競馬臨時列車の運行状況、鉄道初期の路線図や乗車券など貴重な資料を展示。1930(昭和5)年発行の「小田原急行鉄道沿線名所案内」を見ると稲田多摩川(現・登戸)、相模厚木(本厚木)、新松田、小田原、藤沢の各駅近くに競馬場がある。「京濱電鐵湘南電鐵」沿線案内は穴守(穴守稲荷)、川崎大師に、「西武電車」は川越(本川越)、「山陽電鐵」の藤江などで下車駅が図示されている。

国内初の競馬場最寄り駅は北海道だ。函館競馬場が出来た2年後の1898(明治31)年、温泉で有名な湯の川まで函館馬車鐵道が延びた時に「競馬場前停留場」が誕生した。1913(大正2)年路面電車となり100年以上経ってなお現役の函館市電・競馬場前だ。馬車鉄道はイギリスで始まった。馬車は車輪がぬかるみに取られ貨客を多く運べなかったがレールを敷いた馬車鉄道だと輸送力は格段に増した。さらに蒸気機関など鉄道の下車駅も北海道が最初で08(明治41)年、札幌競馬場正門前に国鉄の臨時乗降場が出来た。

24(大正13)年に常設の函館本線桑園を開業、いま



JRA東京競馬場と直結する京王電鉄・府中競馬正門前駅

も競馬や卸売市場へ行く人びとで賑わう。

競馬開催日の電車内はスポーツ紙や競馬予想紙など見ながら赤ペン片手に熱中する乗客が目立つ。東京競馬場の下車駅は旧国鉄・東京競馬場前で、あとから京王電鉄が通称の「府中」から名付けた府中競馬正門前を開業、その後国鉄線は廃止された。京王線府中で競馬場線に乗り換え1つ目の終点で1日乗降数は京王で最少の約3千人だが競馬の日はウマ人気で数万人以上に膨れ上がる。開催日客数をなぜか電鉄は公表しないが、ホーム幅は最大約25mあり臨時ホームも併用し乗降客を一気にさばく。博物館は正門前から徒歩7分。「競馬と鉄道」展は8月27日まで、休館は月火曜。文・写真 林 莊祐

## 奥伊予街道七駅物語推進協議会とは

会長 津村 英志

我々は、とにかく仲がいい。会議には情報交換会は必須だし、従業員同士も冗談を言い合う仲だ。こんな仲よし協議会がある愛媛県の南東部は、山だらけの過疎の田舎。国道を走る車はチラホラしかいない。こんなところに、10分ほど走れば隣の道の駅についてしまう道の駅密集地帯がある。ここが奥伊予街道七駅物語の活動現場だ。

こんなに近いと、お隣はすべてライバル。お客様の争奪戦が勃発しそうだが、奪おうとするお客様なんていない。そこで我々は、少ないお客様の奪い合いをするのではなく、県庁所在地のような人口密集地から奥伊予地域に誘客するためこの協議会を結成した。

田舎の道の駅同士、もともと仲は良かったが、会費を出し合い、共同事業を展開するとなると話は別。運営主体、規模も様々で、いろいろな意見がぶつかり合った。しかし、腹を割って話す中で、いろいろな障壁が消えていった。前向きな意見が出るようになり、動きが良くなっていった。特筆すべきは、各

駅長が、それぞれの持ち味やノウハウを活かした委員会運営をすることで、エッジの利いた事業展開ができたことだ。5年目を迎えたグルメラリーは1万食の販売間近。協議会で開発・共同販売した柚子サイダーも一万本以上を売り上げて



柚子サイダー



みま道の駅の共同出店

いる。一本当たり10円が協議会に入る仕組みだ。経済効果こそ把握できていないが、地域の魅力発信に大きく寄与している。

また、接客術向上のため、共同でES/CS研修をおこなっている。講師も点(駅ごと)の指導から、面(地域を活かした)での指導をしてくださっている。従業員同士が気軽に交流できるのは、この研修のおかげだ。他にも共同出店やSNS情報発信など、取り組んでいることは多い。

我々は、手をつなぎ、共に汗をかき、感動を共有しながら、この協議会を地域の宝にしたいと考えている。



みま道の駅B3ポスター

観光立国 セミナー予告 第135回観光立国セミナー 9月1日(金) 12時～(2時間程度)

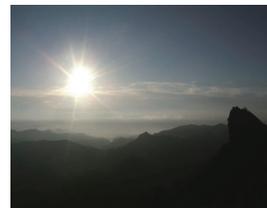
講師:北畑 隆生氏 元経済産業事務次官  
演題:「スペインの魅力と観光」

会場 東京都千代田区麹町4-5 海事センタービル 2F会議室

会費 昼食(弁当)付 会員1,000円、一般(非会員)2,000円

## 「道後 × 石鎚」お湯の神様とお山の神様

株式会社旅tabi.info 小林 あきよ



石鎚山

日本最古といわれる道後温泉と霊山として名高い石鎚山。たまたまご縁があって両方の観光振興に長く携わってきました。役行者による石鎚開山から1330

年となる平成27年。それぞれに個性的なコンテンツであることから道後温泉と石鎚山コラボレートすることになったものの、つながりが見えてこない。パソコンにかじりつくこと3日。なんと、史実に残る最古の激甚災害である白鳳地震の翌年に復興請願を受けて開山されたことが判明しました。道後温泉と石鎚山がつながったのです。

この史実が掘り起こされてからは多少の紆余曲折はあったものの、あつという間に各方面の方々のご理解とご協力が進み、全国でも類を見ない「温泉の源泉でご神像のお身ぬぐいをする。」という正式神事が始まりました。今年で3回目を迎え、「感謝の気持ちを表現できるお祭り」として愛媛県内の観光関連事業者有志の「石鎚ご縁隊の会」、「道後温泉旅館組合」の皆さんが主体となって石鎚山にある神社各社に道後温泉のお湯を奉納します。

神話に彩られた温泉と日本古来の自然信仰を、「Japan spirit」として次世代へ継承できつつあります。昨春には自然保護を主体にした旅づくりにおいて地元行政の尽力が功を奏し環境省のエコツーリズム特別賞も受賞しました。

多くの方々の協力で地域を掘り起こし、磨き上げていけたのは、お湯の神様とお山の神様の願いだったのかな?と思っています。



道後温泉のお湯を奉納